

文化財 だより

NO.16
平成29年度

発行●太田市教育委員会 発行日●平成30年8月20日 編集●太田市教育委員会文化財課 (群馬県太田市柏川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080)・
太田市教育委員会歴史施設課 (群馬県太田市世良田町3113-9 TEL 0276-52-2215 FAX 0276-52-2208)

群馬県指定重要文化財「曹源寺さざえ堂」保存修理事業が完了しました！



修復後のさざえ堂（正面・東から）

平成27年8月に始まった群馬県指定重要文化財さざえ堂（太田市東今泉町165）の保存修理工事が平成29年10月31日に終了しました。

建物の傾きを直して耐震補強を行い、建具の交換を行ったことにより、創建当時を偲ばせる姿を取り戻すことができました。

また、解体工事中の調査により、これまで上塗りやボードが貼られて隠されていた壁から膨大な墨書きが発見されました。参拝者の名前や住所所、参拝日が判読できるものがあり、最も古いもので寛政12年（1800）の日付を確認することができました。墨書きは貴重な歴史的資料であることから、拝観時に見ることができるよう、もとの場所に戻し復元しました。



発見された墨書き



旧中島家住宅 (中島知久平邸地域交流センター)

太田市押切町1417 ☎0276-52-2235 開館時間／9時から17時 (毎月曜日)

「旧中島家住宅」国重要文化財指定記念イベント （「飛行機研究所」開設100周年記念）の開催

「旧中島家住宅」は中島知久平が両親のために建築した邸宅です。代表的な「近代和風建築」として、平成28年7月25日に国重要文化財に指定されました。また、平成29年は中島知久平が大正6年にSUBARUの前身である「飛行機研究所」を開設して100周年にあたります。これらを記念して市民の皆さんに「旧中島家住宅」の魅力を知っていただこうと、平成29年10月28日・29日にイベントを開催しました。



/パネルディスカッションの様子

2日間にわたり「旧中島家住宅」非公開部分の特別公開を行うと共に、28日は記念シンポジウムとして手島仁先生による基調講演「飛行機王中島知久平」並びに、「旧中島家住宅の魅力」と題してコーディネーターに河東義一先生、バネリストに村田敬一先生、手島仁先生、小林則子先生をお迎えしてパネルディスカッションを行いました。

また、29日には、「東京大衆歌謡楽団」による昭和歌謡コンサートを尾島行政センターで行いました。

- 「旧中島家住宅」非公開部分の特別公開
 - ・10月28日 550人
 - ・10月29日 543人
- 記念シンポジウム 74人
- 昭和歌謡コンサート 372人



基調講演の様子



28日の様子



朝早くからの来場者

29日の様子



「押切町を明るくする会」のけんちん汁・赤飯の無料配布



非公開の客間を真剣に見学



客間でのお茶会



地元農家による農産物販売



尾島行政センターでの昭和歌謡ショー



し せき こう づけのくに につ た やう け あと

史跡上野国新田郡家跡遺物整理事業

●と き 平成29年4月1日から平成30年3月31日

●ところ 金山城跡ガイダンス施設

発掘調査が終了しても、これで終わりではありません。記録された遺跡の発掘調査の成果を未来に伝えるために遺物整理作業を行い、「発掘調査報告書」を刊行するという重要な業務があります。

遺物整理作業では、出土遺物や見つかった遺構の図化や写真整理を行い図版化し、報告書の原稿を執筆していきます。

平成29年度は平成30年度に刊行を予定している「新田郡家跡発掘調査報告書」に掲載する図版を作成する作業を行いました。



遺物整理作業状況

史跡上野国新田郡家跡保存活用事業

●と き 平成29年4月1日から平成30年3月31日

●ところ 太田市天良町地内（史跡上野国新田郡家跡）

平成29年度に史跡上野国新田郡家跡保存活用計画が策定され、今後は指定地において保存だけでなく適切かつ有効に活用していくことになりました。

しかし、活用するために行う史跡の整備には長い年月がかかります。そこで平成29年度は、見学者に新田郡家を学び楽しんでいただけるように、指定地の郡庁域では遺構名称を表示し、正倉院では見つかった正倉の柱位置に小型の赤色ドラム缶を置いて表示し、簡易説明板を設置するなどの「史跡の仮整備」を行いました。



郡庁域における仮整備状況（南西から）



正倉院における仮整備状況（南東から）



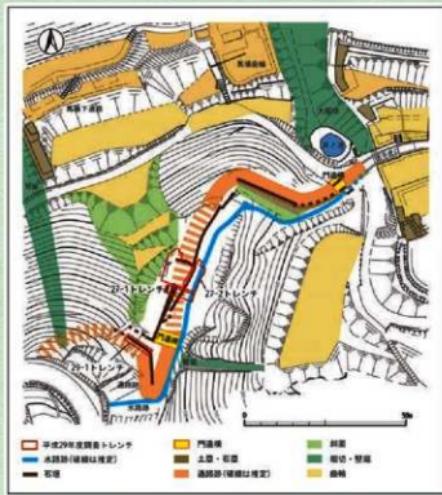
かな やま じょう あと

史跡 金山城跡 の最新情報

- 調査場所 太田市金山町40-51、40-166、40-168の一部（金山城跡釘貫戸張地区）
- 調査期間 平成29年9月4日から平成30年2月19日
- 調査面積 198m² (27-1トレーンチ、27-2トレーンチ、29-1トレーンチ)
- 調査の概要 釘貫戸張地区の下段曲輪と排水路、大手道を調査しました。



大手道脇の石垣 (29-1トレーンチ)



平成29年度の調査トレーンチ位置図

29-1トレーンチは、釘貫戸張地区下段曲輪の、門跡を南下した位置にあります。傾斜をもつた帶曲輪になっており、平成22・24年度調査では、石垣が確認されていました。今回はその延長と、大手道の確認を行いました。

石垣は、従来確認されていた石垣の西方に、9mの長さで残存していることが確認され、石垣の総延長は約20mとなりました。石垣の残存高は、高い所で1.9mありました。

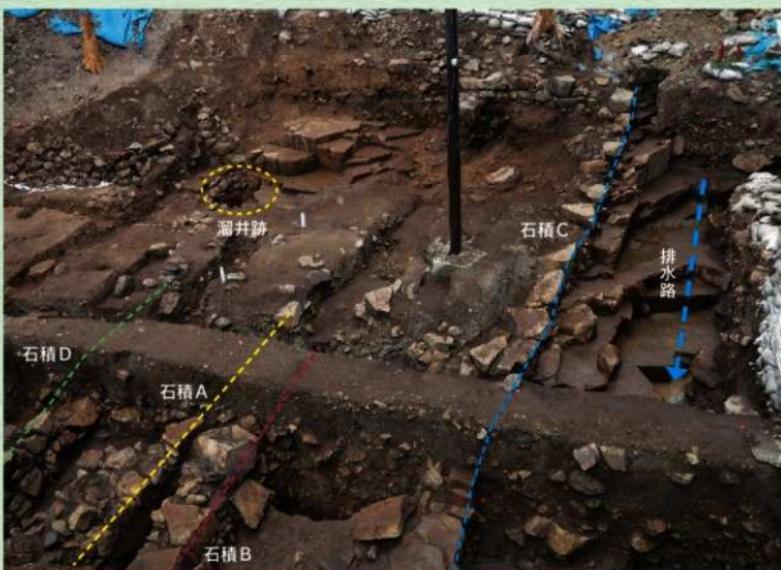
大手道は、石垣の手前に確認されました。通路面は、場所により土の箇所と岩盤の箇所がありました。谷になっている所では、角礫混じりの土で整地し、岩盤（溶結凝灰岩）が露出する場所では、節理面で割り取った平坦面を通路としていました。



釘戸張地区下段曲輪 (27-1トレンチ)

○4号溜井跡

平面形は、 $0.8 \times 1.1\text{m}$ の不正円形で、残存の深さは 0.7m です。側壁は、西側から南側にかけては石積、北側から東側は節理面で岩盤を削り取り側壁としています。岩盤を伝って染み水が溜まります。



下段曲輪27-1・2トレンチ全景 (南から)

平成23・27年度に引き続き未調査箇所を調査し、下段曲輪東側を画する石積Cが、延長12mにわたって確認されました。この石積は、大手虎口南側の側溝から繋がる排水路の右側側壁を兼ねています。排水路の左側側壁と底面は、岩盤(溶結凝灰岩)となっています。節理面で削り取っているため、底面は階段状になっていました。

下段曲輪の東縁を成している石積Cの裏側(西側)には、古い時期の石積B、石積A、石積Dが埋もれており、この曲輪は順次、東へ拡張されていたことがわかりました。石積Dは、今回新たに発見された石積です。石積D・A・Bは27-1・2トレンチの南端で確認されました。その北側へどのように伸びていたのか明確にできませんでした。下段曲輪の改変段階すでに壊されたものと考えられます。改変過程の解明については、課題が残りました。



史跡環境整備

文化財課では、天神山古墳や寺山古墳、また上野国新田郡家跡や旧中島家住宅など市内にある史跡等のうち毎年約20カ所で草刈などの管理、整備をしています。特に夏場は雑草の伸びが早く、暑さもあり大変です。綺麗な状態で史跡等の見学をしていただけるように環境維持に努めています。



寺山古墳

その他史跡管理（樹木伐採等）

史跡等の草刈以外に、危険な枝の剪定や古墳内の枯枝の撤去作業、スズメバチの巣の駆除などを行っています。訪れていただいた皆様に危険がないよう、適切な管理に努めています。

平成29年度には、市場稻荷山古墳や大日山古墳の樹木の剪定作業を行いました。



大日山古墳の樹木剪定

文化財模擬火災訓練

- と き 平成30年1月21日（日）
午前10時から11時
- と こ ろ 生品神社（太田市新田市野井町）

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼失したため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が実施されています。太田市でも、毎年「文化財模擬火災訓練」を実施しています。

平成29年度は、太田市新田市野井町の生品神社で実施しました。生品神社境内は新田荘遺跡を構成する寺社境内として国史跡に指定されています。訓練は生品神社社殿より出火という想定で開始され、消防本部・消防団・関係者の協力のもと、初期消火作業、通報、一斉放水などの訓練が行われました。



初期消火



一斉放水



おおたんの 史跡探検 スタンプラリー

太田市に数多く存在する貴重な文化財を、正しく理解・認識し、より身近に感じていただくため、平成29年度も「おおたんの史跡探検スタンプラリー」を実施いたしました。

小・中学校が夏休みとなる平成29年7月21日から8月31日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計26箇所にスタンプを設置しました。参加者はガイドマップに載っている地図をたよりに、夏の暑い盛りの中スタンプを求めて市内各所を巡りました。

スタンプを設置した全26箇所のうち20箇所以上を巡ると修了認定されますが、今回は4,160名の参加申込があり、その内の2,745名が修了認定されました。

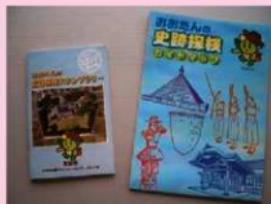
修了者には記念品として、太田市のマスコットキャラクター「おおたん」と旧中島家住宅の車寄せ部をプリントしたペンケースが贈呈されました。

また日時・場所を限定して説明会（市内3箇所）を実施しました。説明会は昨年に比べ1日少ない3日間で行いましたが、延べ人数が2,406人、修了者（2箇所以上）も981人と、昨年同様、多くの方に足を運んでいただきました。

参加者の皆さんには、スタンプラリーを通して太田の歴史を学ぶとともに、家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。



記念品（ペンケース）



ガイドマップとスタンプ帳



説明会修了記念缶バッジ



スタンプラリー実施状況（金山城跡）



スタンプラリー説明会実施状況



そり まる

わた ら ゼ さん ぎょう だん ち

反丸遺跡（おおた渡良瀬産業団地発掘調査）

- 調査場所 太田市吉沢町地内
- 調査期間 平成29年12月26日から平成30年3月28日
- 調査面積 約7,000m²

おおた渡良瀬産業団地造成工事に伴い、遺構が壊される部分について発掘調査を実施しました。平成29年度は、反丸遺跡の南端部を調査しました。その結果、古墳時代前期の住居跡1軒、竪穴状遺構1棟、古墳時代前期から中期の住居跡2軒、竪穴状遺構1棟、古墳時代中期の住居跡3軒、土坑1基、古墳時代中期から後期の住居跡1軒、土坑1基、古墳時代後期の住居跡7軒、中世の火葬跡2基、中世以降の溝1条、土坑1基、その他、土坑32基、柱穴150基以上が検出されました。また、縄文時代から古墳時代の土器片、古墳時代の石製品、近世の磁器片等の遺物が遺物収納箱38箱分出土しました。周辺には、古墳（諏訪古墳）も現存し、この地域では、古墳時代に大きな集落が形成されていたことがわかりました。



調査区全景（南から）



4号住居跡（南から）



4号住居跡遺物出土状況（南から）



4号住居跡カマド（南から）



作業状況（西から）



にし や じま

西矢島古墳群（民間開発）

●調査場所 太田市西矢島町地内

●調査期間 平成29年6月14日

●調査面積 50m²

工場の建替えに伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳の周堀の一部が検出されました。周堀は古墳の東側の一部で幅は約6mでした。西側の部分については既存の工場があるため確認することができませんでした。また、墳丘についても以前工場が建っていた部分であったため、すでに壊されていて確認することはできませんでした。

周堀の中からは円筒埴輪の破片が数点出土しました。



古墳の周堀（南から）

エフ ピー でいりゅうした

F P 泥流下遺跡群（民間開発）

●調査場所 太田市亀岡町地内

●調査期間 平成29年9月19日から9月21日

●調査面積 50m²

宅地造成に伴い道路新設部分の発掘調査を実施しました。その結果、住居跡3軒、土坑6基、ピット38基が検出されました。

住居跡は3軒とも出土した遺物から、奈良・平安時代の遺構であることがわかりました。

調査区の両端はそれぞれ落ち込んで低地となっていることから、当時は幅20m~30mの細長い微高地に集落が営まれていたと考えられます。



作業状況（西から）

しも はら

下原遺跡（民間開発）

●調査場所 太田市新道町地内

●調査期間 平成29年6月15日

●調査面積 60m²

集合住宅の建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、住居跡1軒が検出されました。住居跡は5m×4mの大きさで、深さは約10cmと浅く、残りがあまりよくありませんでしたが、出土した遺物から平安時代の住居跡であることがわかりました。

調査地周辺は近年でも調査が数件行われ、平安時代の住居跡などが見つかっていることから、平安時代この周辺に集落が営まれていたことが考えられます。



平安時代の住居跡（南から）

とり やま てら なか

鳥山寺中遺跡（民間開発）

●調査場所 太田市鳥山上町地内

●調査期間 平成29年10月6日

●調査面積 30m²

宅地造成に伴い道路新設部分の発掘調査を実施しました。その結果、住居跡1軒、土坑1基が検出されました。住居跡の貯蔵穴の底面から完形の壺が出土しており、その特徴から古墳時代後期の土器であることがわかりました。



球



古墳時代の住居跡（南から）



しも　た　じま

下田島遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市下田島町地内
- 調査期間 平成29年11月14日から11月17日
- 調査面積 70m²

宅地造成に伴い道路新設部分の発掘調査を実施しました。その結果、古墳2基、溝1条が検出されました。

古墳は調査区の北端部と南端部からそれぞれ周堀の一部が検出されましたが、いずれの古墳も墳丘部は壊されていて確認できませんでした。周堀の幅は南側の古墳が3.6m、北側の古墳が2.7mでした。周堀の中からは円筒埴輪や形象埴輪の破片が出土し、その特徴から古墳時代後期のものと考えられます。



作業状況（東から）

しも　た　じま

下田島遺跡（公共開発）

- 調査場所 太田市下田島町地内
- 調査期間 平成29年11月13日から11月30日
- 調査面積 240m²

宝泉南部土地区画整理事業の道路新設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳1基、溝2条、土坑2基、井戸1基が検出されました。古墳は調査区の東側と西側で周堀の一部が検出されました。周堀の幅は広いところで約13mありました。



作業状況（東から）

とう　ぶ　ち　く

東部地区遺跡群（民間開発）

- 調査場所 太田市岩松町地内
- 調査期間 平成29年11月27日から12月11日
- 調査面積 67m²

尾島東部土地区画整理事業の道路新設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、住居跡4軒、土坑3基、ピット2基が検出されました。住居跡は出土遺物の特徴から3軒が古墳時代後期のものであることが分かりました。残りの1軒に関しては残存状況が悪く、時期はわかりませんでした。

この他に、調査区全域で地震による噴砂の痕跡を見てとることができました。周辺の過去の発掘調査においても確認されており、弘仁9年（818）の地震によるものと想定されます。



調査区（西から）

てん　ら　しち　どう

天良七堂遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市天良町地内
- 調査期間 平成30年3月26日から3月28日
- 調査面積 70m²

宅地造成に伴い道路新設部分の発掘調査を実施しました。その結果、住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟、溝4条、土坑1基、ピット8基が検出されました。

住居跡については出土遺物の特徴から古墳時代後期のものであることがわかりました。溝については幅約2.1m、深さ約70cm、断面は逆台形で出土遺物の特徴から古墳時代後期のものであることがわかりました。

また、掘立柱建物跡については住居跡と溝を埋して建てられていることから古墳時代後期以降のものであることがわかりました。



作業状況（東から）



たか はやし ほん ごう

高林本郷遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市高林南町地内
 - 調査期間 平成29年8月2日から9月13日
 - 調査面積 480m²
- 宅地造成に伴い道路新設部分の発掘調査を実施しました。その結果、住居跡13軒、溝3条、土坑11基、井戸4基、ピット28基が検出されました。住居跡については出土遺物の特徴から古墳時代後期の遺構であることがわかりました。



作業状況（北から）



手捏ね土器 磐玉

しも はら

下原遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市新道町地内
 - 調査期間 平成29年9月19日から10月10日
 - 調査面積 103m²
- 集合住宅の建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、住居跡4軒、掘立柱建物跡1棟、井戸1基、土坑1基が検出されました。住居跡の時期は古墳時代後期1軒、平安時代2軒でした。残り1軒は残存状況が悪く、出土遺物も極めて少ないとから時期の推定が困難でした。

当地周辺はここ数年で発掘調査が数多く行われており、平安時代の集落域であったことがわかつています。今回においても平安時代の住居跡が確認されており、集落を形成していたことがわかりました。



平安時代の住居跡（東から）

はま ちょう

浜町遺跡（公共開発）

- 調査場所 太田市本町地内
- 調査期間 平成29年9月26日から10月26日
- 調査面積 174m²

太田駅周辺土地区画整理事業の道路築造部分の発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代前期の住居跡1軒、古墳時代後期の住居跡2軒、土坑2基、古墳時代から平安時代の溝1条、奈良時代の住居跡4軒、溝1条、平安時代の住居跡5軒、溝1条、時期不明の土坑6基が検出されました。また、古墳時代から平安時代の土器片等が遺物収納箱5箱分出土しました。周辺には、群集墳が多く見られるところから、古代からこの土地で多くの人々が暮らしていたことがうかがえます。



調査区全観（東から）



ほし　みや

星ノ宮遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市東長岡町地内
- 調査期間 平成29年11月20日から12月7日
- 調査面積 91m²

宅地分譲地の道路建設部分について、発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代中期の住居跡2軒、土坑5基、平安時代の住居跡1軒、溝2条、土坑1基などの遺構が検出されました。また、遺物も多数出土しました。この様に当地が古代からの集落地であったことが分かりました。また、遺構の中でも特に2条の溝は、道路状遺構と考えられ、東山道からの分歧道と考えられます。



道路状遺構（南から）

しん　みや　づか

神明塚古墳（民間開発）

- 調査場所 太田市新田木崎町地内
- 調査期間 平成29年12月1日から平成30年1月15日
- 調査面積 250m²

工場の建設に伴い発掘調査を行いました。調査の結果墳丘表面・周囲部分はすでに削られており、後で土が盛られていたことが確認されました。周堀も確認することができず、残りの悪い状態でした。石室のあった場所が確認され、横穴式であることはわかりましたが、石材等は持ち出されていて残っていませんでした。出土した遺物も少量でしたが、その特徴から古墳時代後期のものであると考えられます。



神明塚古墳全貌（上空から）

にし　た　じま

西田島遺跡（公共開発）

- 調査場所 太田市下田島町地内
- 調査期間 平成29年5月17日から平成30年2月7日
- 調査面積 610m²

宝泉南部土地区画整理事業の道路築造に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳2基、溝4条、井戸2基、土坑3基、ピット3基が検出されました。古墳については調査区の北西部と南部にそれぞれ周堀の一部と墳丘部の一部が検出されました。南部の古墳では、墳丘部に蓋石が一部残り、円筒埴輪が並べられていました。



墳丘部の蓋石と埴輪列（東から）



作業状況（西から）



平成29年度埋蔵文化財最新情報展

- と き 平成30年1月20日（土）から3月18日（日）
- と こ ろ 史跡金山城跡ガイダンス施設・金山地域交流センター ギャラリー
- 観覧者 3,598人

平成29年度の埋蔵文化財最新情報展は、世良田地区発掘調査の遺物整理作業が終了し、発掘調査報告書が刊行されたことを受けて、「世良田たんばに眠る遺跡」というテーマで行いました。

世良田地区的発掘調査は平成24年度から27年度にかけて同地区のは場整備事業に伴って行われたものです。上新田遺跡・世良田環濠集落・歌舞妓遺跡・世良田陣屋遺跡・FP泥流下遺跡群・下原古墳群という6つの遺跡の調査で出土した古墳時代の土器や埴輪、中世の陶磁器などを展示しました。



展示風景



最新情報展ポスター

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。平成29年度は駒形神社埴輪窯跡、岩松千歳2遺跡、平成28年度は太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

平成29年度には、平成28年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた「太田市内遺跡13」と、平成26年度に内ヶ島町地内での市有地分譲に伴う発掘調査結果をまとめた「川向・中西田遺跡」を刊行しました。



平成29年度に刊行した報告書



図面整理作業風景



平成29年度 確認調査一覧表

No	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因	No	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
1	新田館跡	世良田町	H29.4	民間	33	内ヶ島古墳群	内ヶ島町	H29.9	民間
2	FP泥流下遺跡群	安養寺町	H29.4	民間	34	FP泥流下遺跡群	亀岡町	H29.10	民間
3	寺井庵寺北遺跡	成塙町	H29.4	民間	35	FP泥流下遺跡群	尾島町	H29.10	民間
4	FP泥流下遺跡群	亀岡町	H29.4	民間	36	鳥山寺中遺跡	鳥山上町	H29.10	民間
5	賀茂遺跡	龍舞町	H29.4	市	37	FP泥流下遺跡群	安養寺町	H29.10	民間
6	西田島遺跡	下田島町	H29.4	市	38	神明塚古墳	新田木崎町	H29.10	民間
7	下田島遺跡	下田島町	H29.4	市	39	狐森古墳群	由良町	H29.10	民間
8	東部地区遺跡群	岩松町	H29.5	民間	40	星ノ宮遺跡	東長岡町	H29.11	民間
9	向野遺跡	高林東町	H29.5	民間	41	東部地区遺跡群	岩松町	H29.11	民間
10	寺中遺跡	矢田堀町	H29.5	民間	42	東別所遺跡	飯塚町	H29.11	民間
11	道原遺跡	市場町	H29.6	民間	43	下田島遺跡	下田島町	H29.11	民間
12	西矢島古墳群	西矢島町	H29.6	民間	44	西長岡宿古墳群	西長岡町	H29.11	民間
13	東部地区遺跡群	堤口町	H29.6	民間	45	下田島遺跡	下田島町	H29.11	民間
14	下原遺跡	新通町	H29.6	民間	46	女体山古墳東方遺跡	内ヶ島町	H29.12	民間
15	世良田環濠集落	世良田町	H29.6	民間	47	市場古墳群	市場町	H29.12	民間
16	焼山古墳群	東長岡町	H29.6	民間	48	北之庄遺跡	由良町	H29.12	民間
17	北之庄遺跡	由良町	H29.7	民間	49	下田島遺跡	下田島町	H29.12	民間
18	高林本郷遺跡	高林南町	H29.7	民間	50	通木遺跡	新田市野井町	H29.12	民間
19	反町城館跡	新田反町町	H29.7	民間	51	西矢島古墳群	西矢島町	H29.12	民間
20	飯塚古墳群	飯塚町	H29.8	民間	52	宝積院跡	世良田町	H29.12	市
21	天神山古墳	内ヶ島町	H29.8	民間	53	延享割遺跡	泉町	H30.1	民間
22	反町城館跡	新田反町町	H29.8	民間	54	東部地区遺跡群	岩松町	H30.1	民間
23	吹跡、吹込跡、吹出跡、吹残跡	吉沢町	H29.8-H29.8	市	55	市場古墳群、淀割山陥落北ルート	市場町	H30.1	民間
24	下原遺跡	新通町	H29.8	民間	56	天良七堂遺跡	新田小金井町	H30.1	民間
25	浜町遺跡	本町	H29.8	市	57	西田島遺跡	下田島町	H30.2	市
26	新野古墳群	新野町	H29.9	民間	58	市野井新田遺跡	新田市野井町	H30.2	民間
27	FP泥流下遺跡群	亀岡町	H29.9	民間	59	FP泥流下遺跡群	出塚町	H30.2	民間
28	東部地区遺跡群	岩松町	H29.9	民間	60	萩原窯跡	吉沢町	H30.2	民間
29	中原上遺跡	斎塙町	H29.9	民間	61	笠松遺跡	新田小金井町	H30.3	民間
30	大門遺跡	別所町	H29.9	民間	62	天良七堂遺跡	天良町	H30.3	民間
31	天狗林遺跡	由良町	H29.9	民間	63	東部地区遺跡群	岩松町	H30.3	民間
32	下原遺跡	新野町	H29.9	民間	64	小角田前遺跡	世良田町	H30.3	民間

開発に係る調整

平成29年度
事前照合・協議件数等

	公共事業	民間開発	合計
事前照合・協議	73件	2,304件	2,377件
本免掘調査	4件	11件	15件
確認・試掘調査	7件	57件	64件
学術調査	1件	-	1件
立会調査	25件	11件	36件
慎重工事	6件	614件	620件
93条届出		635件	635件
94条通知	39件		39件
確認・試掘調査面積	4,195m ²	4,351m ²	8,546m ²
本調査面積	2,824m ²	1,321m ²	4,145m ²
学術調査面積	198m ²	-	198m ²



新田莊歴史資料館

太田市世良田町3113-9 ☎0276-52-2215 開館時間／9時30分から17時 ㊑／月曜日

－重要文化財指定記念－「下宿遺跡出土品」～縄文時代草創期の世界～

●と き 平成29年7月8日（土）から9月24日（日）

●入館者 4,265人

「下宿遺跡出土品」は、縄文時代草創期の文化の様相を知るうえで、極めて学術的価値が高く、国の重要文化財に指定されたことを記念し、国内でも数少ない器形が復元された爪形文土器や石鏃などの石器、指定された121点すべてを展示公開しました。

☆関連講演会

「縄文文化のはじまりと下宿遺跡の爪形文土器」

●と き 平成29年8月20日（日）

●講 師 原田 昌幸氏

（文化庁主任文化財調査官）

●参加者 68人



原田 昌幸氏



企画展チラシ

平成29年度「長楽寺展」～羅漢～

●と き 平成29年10月28日（土）から平成30年1月21日（日）

●入館者 3,659人

長楽寺は、新田氏の祖新田義重の子徳川義季が、承久3年（1221）に日本に臨済宗を伝えた崇光の高弟朝栄を招いて創建した寺です。新田徳川氏を先祖であるとする徳川将軍家は、長楽寺を先祖の建てた寺として庇護し、3代将軍家光の日光東照宮大改修の時、奥社拝殿を長楽寺境内に移築し、東照宮を勧請します。また、宗派を天台宗に改宗し、長楽寺伽藍の整備を行いました。

今回は、長楽寺の絹本著色十六羅漢図を中心に長楽寺・東照宮の宝物を展示し、中近世に繁栄した長楽寺の歴史と文化の一端に触れることを目的として開催しました。



展示の様子



長楽寺展チラシ

☆関連講演会

「長楽寺の再建事業と新田氏」

●と き 平成29年11月12日（日）

●講 師 田中 大喜氏（国立歴史民俗博物館准教授）

●参加者 60人



田中 大喜氏

☆関連行事 「ガイドと歩く紅葉の歴史公園」

●と き 平成29年11月16・17日（計4回開催）

●参加者 24人

●ガイド 新田莊史跡ガイドの会



体験

ゴールデンウイーク・夏休み企画 「キーホルダー作り」

- と き 平成29年4月29日（土）から5月7日（日）
 - 参加者 147人
 - と き 平成29年7月22日（土）から8月27日（日）
 - 参加者 670人
- プラ板を使い、オリジナルイラストを写し取り、キーホルダーを作りました。



大隅俊平美術館

太田市由良町3051 ☎0276-20-6855 開館時間／9時30分から17時 休／月曜日

第10回企画展 「正宗賞」

- と き 平成29年9月30日（土）から平成30年1月21日（日）
- 入館者 1,357人

重要無形文化財保持者（人間国宝）大隅俊平刀匠は、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が主催する新作名刀展において最高位である「正宗賞」を3度受賞しました。この企画展では、その「正宗賞」受賞作品全3口を展示しました。



高野刀匠による説明

企画展ポスター

花結び展示 「一本の紐から百花繚乱」

- と き 平成30年2月3日（土）から18日（日）
 - 入館者 330人
- 和文化普及事業の一環として、日本結び文化学会副会長の田中年子氏の協力のもと開催しました。



展示説明会の様子

展示作品説明会

- と き 平成30年2月3日（土）
- 講 師 田中年子氏（日本結び文化学会副会長）
- 参加者 42人



講 座

花結び講座

- ◆花結び講座 「淡路結びでブローチづくり」
●と き 平成29年6月21日（水）から28日（水）
●参加者 50人
- ◆花結び講座 「干支・戌」
●と き 平成29年11月15日（水）から19日（日）
●参加者 34人
- ◆ワークショップ
「結び遊び～平結びのストラップ作り」
●と き 平成30年2月21日（水）
から24日（土）
●参加者 69人



花結び講座の様子



淡路結びのブローチ



干支・戌



平結びのストラップ

実 演

銘切実演

- と き 平成29年5月5日（金）
①10時から12時 ②13時30分から15時30分
- 講 師 本田 正紀刀匠
- 参加者 137人
刀匠が自身の作品に銘を切るところを公開し、実演終了後には、真鍮プレートに子ども達の名前を切りプレゼントしました。



刀剣研磨実演

- と き 平成29年9月17日（日）
13時から15時
- 講 師 高野 和也刀匠
- 参加者 52人
刀匠による刀剣研磨の様子を公開しました。



土取り実演

- と き 平成29年10月22日（日）
①11時から12時 ②14時から15時
- 講 師 本田 正紀刀匠
- 参加者 30人
刃文をみれるための焼刃土を塗る様子を公開しました。



王朝装束着装実演

- と き 平成30年1月21日（日）
13時から15時
- 講 師 (財)民族衣裳文化普及協会群馬県支部
- 参加者 83人
- モデル 平成29年度ミス太田の岩崎彩未さん・ミス八瀬川の千木良菜穂さ



王朝装束着装の様子

作刀実演

- と き 平成30年3月11日（日）
13時から15時
- 講 師 実演：高野 和也刀匠
解説：本田 正紀刀匠
- 参加者 159人





縁切寺満徳寺資料館

太田市徳川町385-1 ☎0276-52-2276 開館時間／9時30分から17時 休／月曜日

特別展「礼法書に見る江戸の嫁方－礼節社会の誕生を探る－」

- と き 平成29年6月24日（土）から
9月3日（日）

●入館者 3,832人

今回の特別展は、法政大学講師で学術博士でもある小泉吉永氏監修のもと、「礼法書に見る江戸の嫁方－礼節社会の誕生を探る－」と題して、江戸時代に出版された数多くの礼法書につき、「武家礼法」「庶民礼法」「女性礼法」「婚礼」の4つの視点から資料を厳選して展示し、現代の礼儀作法・マナーのルーツや日本人のアイデンティティーを感じ取ることのできる特別展としました。



(2.4) 繪本禮道しるべ

展示の様子

【特別講演会「礼法書に見る江戸の嫁方－礼節社会の誕生を探る－】】

- と き 平成29年7月2日（日） 14時から

●ところ 緑切寺満徳寺復元本堂

●講 師 小泉 吉永氏（法政大学講師）

●参加者 39人

江戸時代の往来物研究の第一人者で、この特別展を監修していただいている小泉先生から、江戸時代における出版を通じた礼法の普及について、ご講演をいただきました。



特別講演会の様子

第31回三くだり半企画展 「関連文書のある三くだり半」

- と き 平成29年11月11日（土）から
平成30年1月14日（日）

●入館者 1,595人

離縁状は、通例、離縁文言と再婚許可文言からなり、内容はできるだけ簡略（通例3行半）に書かれ、したがって、離婚の実態や背景は、その関連文書の存在によって、はじめて確認できることになります。この企画展では、そうした関連文書のあるさまざまな離縁状を展示しました。



展示の様子

【講演会「関連文書のある三くだり半】】

- と き 平成29年11月26日（日） 14時から

●ところ 緑切寺満徳寺復元本堂

●講 師 高木 侃氏（縁切寺満徳寺資料館名誉館長）

●参加者 44人

縁切寺満徳寺資料館の高木名譽館長は、三くだり半と離縁状の研究を志してから50年が経過されますが、その豊富なご研究の中から、関連文書のある三くだり半の具体的な事例につき、ご講演をいただきました。



講演を行う高木名譽館長



伝統文化講座「琵琶演奏」及び大衆文化講座「落語」

★伝統文化講座「琵琶演奏」他★

- と き 平成29年10月13日（金）
18時30分から
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 演 者 琵琶・琴・語り 仲林 光子氏
篠笛・能管・琴 仲林 利恵氏
- 参加者 62人

琵琶奏者 仲林光子氏と、ご息女 利恵氏をお招きし、臨場感あふれる琵琶語り「那須与一」や、今回が初演となる琵琶語り・笛による「安珍清姫物語」、また光子氏と利恵氏の琴二重奏、利恵氏の笛の独奏等、和楽器による多彩なプログラムを鑑賞いただきました。



琵琶・語り 仲林 光子氏、笛 仲林 利恵氏

★大衆文化講座「落語」★

- と き 平成29年10月14日（土）
13時30分から
 - ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
 - 演 者 落語 柳家 はん治師匠
落語 柳家 小満ん師匠
 - 参加者 55人
- 落語家 柳家はん治師匠・柳家小満ん師匠をお招きし、「駆け込み寺」（演目）をはじめとする磨き抜かれた古典落語や軽妙洒脱な新作落語という多彩な演目の内で、その場の雰囲気を巧みに掌握され自在に繰り広げられる真打お二人の至芸を堪能いただきました。



柳家 はん治師匠



柳家 小満ん師匠

歴史民俗資料館

太田市戸塚町149 ☎0277-78-5728 開館時間／9時30分から17時 休／月曜日

「校倉造り」風の外観が特徴の戸塚本町歴史民俗資料館は、戸塚温泉今井館主であった今井新次氏とその父伊三郎氏が、県内外で収集した埋蔵文化財などを旧戸塚本町に寄贈したこときっかけとして旧戸塚本町が建設した資料館で、昭和53年（1978年）に開館しました。

縄文時代後期から晩期の遺跡である石之塔遺跡から出土した土偶や土製耳飾りなどのほか、北関東地域における古墳時代前期の土器形式の指標となった石田川遺跡出土の土器（壺・高杯・鉢・罐・器台など）を展示しています。





高山彦九郎記念館

太田市細谷町1324-7 ☎0276-32-5632 開館時間／9時30分から17時 休／月曜日

企画展 「高山彦九郎日記『忍山湯旅の記』を廻る」

●と き 平成29年3月18日（土）から9月3日（日）

●入館者 2,971人

30年間にわたり日本全国を歩いた江戸中期の旅の思想家・高山彦九郎は、生涯に数多くの日記を遺し、克明に旅先のことを記録しています。今回はその中から、安永4（1775）年、彦九郎が桐生の梅田にあつた忍山の湯に湯治に行ったときの旅日記「忍山湯旅の記」を取り上げました。この日記には、忍山の湯の様子をはじめ、桐生の新宿村で水車を利用して絹を織る様子や忍山の様々な名産品など、当時の様子が詳細に記されており、これをもとに彦九郎の足跡を辿り、その旅を偲ぶ資料を展示しました。



展示の様子

講演会「高山彦九郎『忍山湯旅の記』の跡をたどる」

●と き 平成29年6月25日（日）14時から

●演 題 「高山彦九郎『忍山湯旅の記』の跡をたどる」

●講 師 馬場 憲一氏（「激坂調査隊」主宰）

●ところ 史跡金山城跡ガイダンス施設

●参加者 51人

高山彦九郎の旅日記「忍山湯旅の記」について、その行程各所の現在の状況を、講師が実際に現地を訪れて撮影した写真映像で紹介しつつ日記の記述と対比して彦九郎の足跡をたどり、その旅を偲ぶ講演をいただきました。



馬場 憲一氏

企画展 「高山彦九郎日記『利根路の秋旅』」

●と き 平成30年3月24日（土）から9月9日（日）

●入館者 30人（平成30年3月31日まで）

「利根路の秋旅」は、安永4（1775）年7月8日から7月22日、高山彦九郎の曾祖父の法事に江戸から来た祖叔父を、彦九郎が利根川・江戸川を舟路で江戸に送り、江戸に5日間滞在して中山道を陸路で帰郷する15日間の旅日記です。日記の原本やバネルなどの展示により、彦九郎の人間性や旅人としてのロマンを堪能できる企画展としました。



展示の様子



史跡金山城跡ガイダンス施設

太田市金山町40-30 ☎0276-25-1067 開館時間／9時から17時 (毎月曜日)

体験学習

内 容	月 日	回数	講 師	参 加 者 数
草木染教室Ⅰ	平成29年5月20日、6月17日、7月15日、9月16日、10月21日	5回	板野千恵氏	44人
樹脂粘土でつくる多肉植物	平成29年5月16日、5月23日、5月30日	全3回	田村喜美子氏	21人
美味しい日本茶の入れ方	平成29年6月15日	1回	齋藤一郎氏	18人
金山合戦	平成29年7月22日	1回	職員	35人
親子草木染教室	平成29年7月26日	2回	職員	20人
金山城跡（大手虎口）の模型を作る	平成29年8月8日	1回	職員	15人
金山茶道教室	平成29年9月26日、10月3日、10月17日、10月24日、10月31日、11月7日	全6回	高橋芳子氏	87人
篆刻体験教室	平成29年10月7日、10月14日	2回	龍舞篆会	10人
金山城跡を歩こう	平成29年11月3日	1回	職員	23人
草木染教室Ⅱ	平成29年11月24日、12月6日、12月7日、12月8日	4回	職員	47人
繭玉細工講座	平成29年12月16日	1回	板野千恵氏	12人
勾玉ネックレス講座	平成30年1月17日	1回	大隅優子氏	11人
勾玉づくり体験教室	開館日随時受付		職員	410人
火起こし体験教室	開館日随時受付		職員	332人
石臼（粉挽き）体験	開館日随時受付		職員	220人



草木染教室Ⅰ



樹脂粘土でつくる多肉植物（作品）



美味しい日本茶の入れ方



金山合戦



親子草木染教室



金山城跡（大手虎口）の模型を作る（作品例）



茶道教室



篆刻体験教室



金山城跡を歩こう



草木染教室Ⅱ



繭玉細工講座



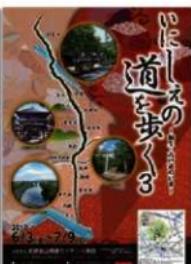
勾玉ネックレス講座（作品例）



ギャラリー展示



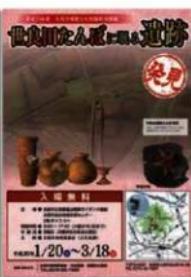
空中写真でたどる太田市の発展

第2回日本100名城パネル展
近畿の名城いにしえの道を歩く3
一 桐生・古戸道のいまー

いにしえの技に挑む 摺鏤

第6回篆刻展
西郷隆盛・勝海舟の落款印模刻展

古墳時代の上江田のムラ

埋蔵文化財最新情報展
世良田たんぼに眠る遺跡第3回日本100名城パネル展
四国の名城

企画展名	期間	来場者
空中写真でたどる太田市の発展 昭和45年から平成6年までの激動の四半世紀	平成29年3月22日 から4月16日	1,418人 ※平成29年4月1日以降
第2回日本100名城パネル展 近畿の名城	平成29年4月29日 から5月28日	3,485人
いにしえの道を歩く3 一 桐生・古戸道のいまー	平成29年6月3日 から7月9日	2,331人
いにしえの技に挑む 摺鏤	平成29年7月15日 から9月10日	6,654人
第6回篆刻展 西郷隆盛・勝海舟の落款印模刻展	平成29年9月16日 から11月12日	3,904人
古墳時代の上江田のムラ	平成29年11月25日 から平成30年1月14日	3,019人
埋蔵文化財最新情報展 世良田たんぼに眠る遺跡	平成30年1月20日 から3月18日	3,598人
第3回日本100名城パネル展 四国の名城	平成30年3月24日 から5月13日	838人 ※平成30年3月31日現在



歴史講演会等

第20回金山歴史講演会

- ところ 宝泉行政センター 多目的ホール
- とき 平成29年12月24日（日）
- 講師 中井 均氏（滋賀県立大学教授）
- 演題 金山城の謎を解く
～石垣と池をめぐって～
- 参加者 104人



中井 均氏

文化振興事業 「新春太田 曲独楽ショー」

史跡金山城跡ガイダンス施設・金山地域交流センターを日本古来の伝統文化発信地としていくことを目的として、曲独楽ショー（2回公演）を開催しました。

- ところ 金山地域交流センター コミュニティルーム
- とき 平成30年1月20日（土）
11時から11時30分
14時から14時30分
- 演者 曲独楽師 朱仙さん
- 参加者 108人



風車の曲



糸渡りの曲

